

平成29年度 博士課程授業科目課題

2018/1/24現在

| 主担当教員 | 科目 | 課題 |
|-------|------------------|--|
| 大谷教授 | 発生生物学 I | 「発生生物学 I」で学んだことについて Summarize what you have learned from this subject (you may mention about a specific topic(s) in the lecture(s))and explain how to utilize and extend it in your research. |
| | 先天異常 I | 「先天異常 I」で学んだことについて Summarize what you have learned from this subject (you may mention about a specific topic(s) in the lecture(s))and explain how to utilize and extend it in your research. |
| | 医生物学への数学・情報科学の応用 | 「医生物学への数学・情報科学の応用」で学んだことについて Summarize what you have learned from this subject (you may mention about a specific topic(s) in the lecture(s))and explain how to utilize and extend it in your research. |
| 紫藤教授 | 応用医科学 | 以下の3題のうち1題を選択し、レポートを作成しなさい 1、熱中症予防対策としてのインターバル速歩(増木 先生 講義) 2、運動開始時のセントラルコマンド(松川 先生 講義) 3、長期温度馴化における視床下部の神経新生の役割(紫藤 講義) Choose one among three following themes, and create a report. (1)Effects of Interval Walking Training on prevention for heat stroke. (Dr. Masuki) (2)Role of central commands in exercise(Dr. Matsukawa) (3)Contribution of hypothalamic neurogenesis to establishing long-term heat acclimation (Dr. Shido) |
| | 生体病態学Ⅲ | 以下の3題のうち1題を選択し、レポートを作成しなさい 1、熱中症予防対策としてのインターバル速歩(増木 先生 講義) 2、運動開始時のセントラルコマンド(松川 先生 講義) 3、長期温度馴化における視床下部の神経新生の役割(紫藤 講義) Choose one among three following themes, and create a report. (1)Effects of Interval Walking Training on prevention for heat stroke. (Dr. Masuki) (2)Role of central commands in exercise(Dr. Matsukawa) (3)Contribution of hypothalamic neurogenesis to establishing long-term heat acclimation (Dr. Shido) |
| 土屋教授 | 老化 I | 「老化 I」で学んだことについて |
| | 分子機能学 I | 「分子機能学 I」で学んだことについて |
| 浦野教授 | 基礎医科学 | 受講したセミナーのうち一つについての概要、疑問および感想をA4・1枚で提出ください。 |
| | 細胞生物学 I | 受講したセミナーのうち一つについての概要、疑問および感想をA4・1枚で提出ください。 |
| 和田教授 | 生体病態学Ⅱ | 「生体病態学Ⅱ」で学んだことについて Please report what you learned from this subject. |
| 並河教授 | 分子病態学Ⅱ | 「分子病態学Ⅱ」で学んだことについて |
| | 臓器病態学Ⅱ | 「臓器病態学Ⅱ」で学んだことについて |

※レポートの提出締切は2月16日(金)です。各主担当教員に提出願います。

| 主担当教員 | 科目 | 課題 |
|-------|--------------------|--|
| 丸山教授 | 器官系の病態構造Ⅱ | 「器官系の病態構造Ⅱ」を学んだ中で、現在の専門分野に関連してあなたが最も関心を持った事柄、またはテーマを選び、それについて記しなさい。 |
| | 臨床腫瘍学Ⅴ | 「臨床腫瘍学Ⅴ」を学んだ中で、現在の専門分野に関連してあなたが最も関心を持った事柄、またはテーマを選び、それについて記しなさい。 |
| 吉山教授 | 感染症学Ⅰ | 「微生物病原性と宿主免疫防御機構のバランスによる感染症の発症」 「Infectious disease; Balance between host immune defense and microbial virulence」 |
| 原田教授 | 基礎免疫学Ⅰ | 「基礎免疫学Ⅰ」の講義を受けて学んだこと What you learned when you attended the lecture |
| | 腫瘍免疫学Ⅰ | 「腫瘍免疫学Ⅰ」の講義を受けて学んだこと What you learned when you attended the lecture |
| | 機能性物質・食品の医療応用と環境影響 | 「機能性物質・食品の医療応用と環境影響」の講義を受けて学んだこと What you learned when you attended the lecture |
| 竹下教授 | 個人識別学Ⅰ | 「個人識別学Ⅰ」で学んだことについて |
| 神田教授 | 環境医学Ⅰ | 社会と健康について、身近な経験をもとに論じなさい。 Please describe on society and health based on your life. |
| | 環境医学Ⅱ | 環境と健康について、身近な経験をもとに論じなさい。 Please describe on environment and health based on your life. |
| 津本教授 | 医学・医療情報学Ⅰ | 履修者へ直接案内します |
| 杉本教授 | 内分泌・代謝学Ⅰ | 以下の内、いずれか一つについて作成 1. 先天代謝異常の病因と病態について記せ。 2. 内分泌学の観点から排卵、受精、着床現象について記せ。 3. カルシウム・骨代謝調節機構について記せ。 4. 生活習慣病と骨粗鬆症の病態について記せ。 |
| 木下教授 | 器官系の病態構造Ⅰ | 「セリアック病の発症メカニズムを解説せよ」 |
| | 臨床腫瘍学Ⅰ | 「GNASと胃癌の関係について解説せよ」 |
| 山口教授 | 臨床医科学 | アルツハイマー型認知症の成因と治療薬開発について Pathogenesis of Alzheimer's disease and development of disease-modifying drug |
| | 生体機能測定学Ⅰ | Functional MRIの原理と応用について Principle and application of functional MRI |
| | 神経科学Ⅲ | 記憶のメカニズムとその障害について Mechanism of memory function and its impairment |

※レポートの提出締切は2月16日(金)です。各主担当教員に提出願います。

| 主担当教員 | 科目 | 課題 |
|-------|---------|--|
| 磯部教授 | 臨床腫瘍学総論 | 以下の3つの課題から一つを選択し、最近のトピックスについて記載してください。 ① がんの疫学 ② 分子標的治療薬または、がんの免疫療法について ③ がんの副作用対策 Choose one among three following themes, and please describe about recent topics. 1. Epidemiology of cancer 2. Molecular target therapy or Cancer immunotherapy 3. Side effect management of cancer |
| | 地域がん治療学 | 以下の3つの課題から一つを選択し、最近のトピックスについて記載してください。 ① がん検診 ② がん医療の病診連携 ③ 地域がん診療病院の果たす役割について Choose one among three following themes, and please describe about recent topics. 1. Cancer screening 2. Multidisciplinary cancer medicine and network 3. The role of local hospital in cancer treatment |
| | がん医療社会学 | 以下の3つの課題から一つを選択し、現状と問題点について記載してください。 ① 高齢者がん医療 ～がん化学療法、外科療法の適応など～ ② がんの終末期医療 ③ がん医療と医療経済 Choose one among three following themes, and please describe about recent topics. 1. Cancer treatment in the elderly 2. The end period medical care of cancer 3. The cancer medical care and medical economy |
| | 臓器病態学Ⅲ | 以下の3つの課題から一つを選択し、現状と問題点について記載してください。 ① COPDの併存症について ② 肺炎球菌ワクチンについて ③ 間質性肺炎の治療について Choose one among three following themes, and please describe about recent topics. 1. Comorbidity of COPD 2. Streptococcus pneumoniae vaccine 3. Treatment of idiopathic interstitial |
| 森田教授 | 臨床免疫学Ⅱ | 「アレルギーに関するトピックスのまとめ」 Brief summary of a topic in the field of allergy |

※レポートの提出締切は2月16日(金)です。各主担当教員に提出願います。

| 主担当教員 | 科目 | 課題 |
|-------|-----------------|---|
| 田島教授 | 腫瘍生物学 I | あなたが最も興味のある消化器がんに対する最近のがん薬物療法について記載してください(A4紙1枚)。 Recent pharmacotherapy for cancer of the digestive system Please describe a drug therapy for digestive cancers that interests you. |
| | 臨床腫瘍学 II | あなたが最も興味のある消化器がんに対する最近の診断と治療について記載してください(A4紙1枚)。 Recent diagnostic and treatment strategy for cancer of the digestive system Please describe the diagnosis and treatment for digestive cancers that interests you. |
| 織田教授 | 組織・器官系の構造と機能 II | 心臓の構造・機能の関連について、収縮能と拡張能、右心機能と左心機能に分けて述べよ。また収縮能、拡張能の心エコー法による診断法について述べよ。 |
| | 臓器病態学 I | 急性心不全の病態と治療法について述べよ。 |
| 内尾教授 | 組織・器官系の構造と機能 I | 「組織・器官系の構造と機能 I」で学んだことについて |
| | 理工医学のための生物材料学 | 「理工医学のための生物材料学」で学んだことについて |
| 秋山教授 | 腫瘍生物学 II | 各自が最近読まれた研究論文(original article)のなかの1論文について、①ジャーナル雑誌、年、巻、頁、論文タイトルを記載のうえ、②論文を読んで、今後該当分野での各自の考える研究課題、今後明らかにすべき課題について、③A4 1~2枚(800字以内)でまとめる。 |
| | | 「What you learn from the journal article in your academic field」 Summarize what you learn from a journal article. |
| 椎名教授 | 細胞内情報制御学 I | 腫瘍学におけるWntシグナルの意義 |
| 川内教授 | 臨床腫瘍学IV | 下記の2題についてそれぞれレポートを作成すること 1. 分子標的薬の種類とその有用性 2. 抗がん剤の耐性の機序 Report on each of the following two themes 1. Molecular targeting drugs and those clinical efficacy 2. Mechanism of resistance to anti-cancer drugs |
| | | |
| 大平教授 | 老化 II | 「老化メカニズムの解明」と「健康長寿の実現と推進」の観点から、研究プロジェクトを描いてください。 |
| 北垣教授 | 臨床腫瘍学 III | 臨床腫瘍学に関してあなたが得た最新の知見について、詳しく記載しなさい。なお、引用文献を併記すること。 |
| | 生体機能測定学 II | 生体機能測定学に関してあなたが得た最新の知見について、詳しく記載しなさい。なお、引用文献を併記すること。 |
| 齋藤教授 | 緩和ケア学 | 「これまでの研究成果と今後の研究展望」 |
| | 神経科学 II | 「これまでの研究成果と今後の研究展望」 |
| 関根教授 | 細胞生物学 II | 子宮頸部扁平上皮癌と口腔扁平上皮癌の組織構造の違いを簡潔に述べよ。 What is the cytopathological difference between cervical and oral squamous cell carcinoma? |
| | 口腔腫瘍学 | 子宮頸部扁平上皮癌と口腔扁平上皮癌の組織構造の違いを簡潔に述べよ。 What is the cytopathological difference between cervical and oral squamous cell carcinoma? |

※レポートの提出締切は2月16日(金)です。各主担当教員に提出願います。

| 主担当教員 | 科目 | 課題 |
|-------|------------------------|---|
| 長井教授 | 医療のための光工学 | 今年度受講した上記の医学部講義の中で、自分にとって興味深いと思われた1つ、あるいは一連の講義を選び、医療の中で光工学がどのように利用されているか、または利用するためにどのような工夫や研究がなされているかに力点をおいて説明し、今後の光工学の活用や発展性について、できるだけ具体的に記載してください。どの講義についての記載かわかるよう、講義を行った教官名等を明示願います。長さはA4で1枚程度で |
| | 臨床医学と社会・環境医学への高度情報学の応用 | 今年度受講した上記講義の中で、自分にとって興味深いと思われた1つ、あるいは一連の講義を選び、臨床・社会・環境医学の中で高度情報学がどのように利用されているかに力点をおいて説明し、講義により今後医学情報の活用に関する認識がどのように変わったか、できるだけ具体的に記載してください。どの講義についての記載かわかるよう、講義を行った教官名等を明示願います。長さはA4で1枚程度です。 |
| 熊倉教授 | 地域医療学Ⅰ | 地域医療について |
| | 総合診療学Ⅰ | 総合診療について |
| 石橋教授 | 総合診療学Ⅱ | 地域医療活性化への提言：私でできること |
| 廣瀬教授 | 医療疫学・統計学 | 「医療疫学・統計学」を学んで感じたこと |
| 直良教授 | 薬物動態学Ⅰ | 薬物動態の個体間変動に関する論文を1つ取り上げ、その内容を批判的にまとめなさい(A4 1枚)。レポートはメール添付で提出し、論文のPDFを添付すること。 |
| 鈴宮教授 | 腫瘍生物学Ⅲ | 造血器悪性腫瘍に対する分子標的療法および分化誘導療法 Molecular target therapy or differentiation therapy for hematologic malignancies. |
| | 臨床腫瘍学Ⅵ | 各専門領域の腫瘍に対する抗がん薬治療の理論と実際 The theory and practice of chemotherapy for cancer. (Focusing on cancer, which you have interested in) |
| 中村教授 | 分子病態学Ⅰ | 「分子病態学Ⅰ」で学んだことについて |
| | 知的財産と社会連携 | 「知的財産と社会連携」で学んだことについて |
| 宮岡准教授 | 生体病態学Ⅰ | 下記の(1)あるいは(2)のどちらか一つについてレポート(A4、1枚)を提出すること。 (1)これまでに参加したセミナーや講義などで、研究の助けになった内容。 (2)これまでの研究の進行状況。 Please submit a report about whether either (1) or (2). (1>About the helpful contents for your research in the lectures which you had registered. (2)The progress of your research. |
| 伊藤准教授 | 生体システム学Ⅰ | 「受講したセミナーのうち一つについての概要」、「神経活動の記録法」、「神経線維連絡の研究法」からひとつを選択してレポート作成のこと Choose one and make an outline 1. One of the theme presented in the Seminar 2. Methods for recording neural activity 3. Methods for tracing neural connection |
| 嘉数准教授 | 発癌Ⅰ | 「発癌について学んだこと、考察したこと」 What did you learn and consider concerning carcinogenesis? |

※レポートの提出締切は2月16日(金)です。各主担当教員に提出願います。

| 主担当教員 | 科目 | 課題 |
|-------|-------------|--|
| 永井准教授 | 神経科学 I | 下記の(1)あるいは(2)のどちらか一つについてレポート(A4 1枚)を提出すること。 (1)これまでに参加したセミナーや講義などで、研究の助けになった内容。 (2)これまでの研究の進行状況。 >Please submit a report about whether either (1) or (2). (1)“About the helpful contents for your research in the lectures which you had registered.” (2)“The progress of your research.” |
| 矢野准教授 | 細胞間情報伝達学 II | ヒトの細胞—細胞間シグナル伝達の種類と方法について、具体例を挙げて説明せよ。 |

※課題は既にメールでお知らせしています。届いていない方は、msa-daigakuin@office.shimane-u.ac.jpまでメールを送信ください。

※レポートの提出締切は2月16日(金)です。

※レポートを提出される際には必ず、学務課にも同報するようにお願いします。

※レポートの提出締切は2月16日(金)です。各主担当教員に提出願います。